

JGS 関東 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会
第 22 回 議事録

■日 時：2022 年 3 月 23 日（水）14:00～16:45

■場 所：Web 会議（Zoom）

■出席者：桑原（パイルフォーラム）、青木（竹中）、加倉井（パイルフォーラム）、阿部（東京ソイル）、柏（国総研）、片山（東邦地下工機）、小坂井（MFR）、西（安藤ハザマ）、三反畑（安藤ハザマ）、古垣内（東急）、張（東急）、嶋田（大林）、森（熊谷）、福田（戸田）、長澤（清水）、栗本（清水）、原（西松）、伊藤（東亜）、小林（大成）、高岡（三井住友）、梶野（長谷工）、土屋（竹中）、宮本（東洋テクノ）、木谷（三谷セキサン）、田中（大洋基礎）、小川（旭化成）、細田（ジャパンパイル）、高田（不動テトラ）、有山（丸建興業）、野坂（八州建機）、媚山（新潟商事）、根岸（地盤試験所）、飯島（土木研究所）

欠席：____，記録：嶋田

■配布資料

- 22-0_既存杭撤去第 22 回議事次第_220316
- 22-1_第 21 回既存杭の撤去に関する研究委員会_議事録（案）：長澤_220323
- 22-2-2-1_7403165_既存杭-表紙 1-3_220318
- 22-2-2-2_既存杭表紙 4（桑原）_220322
- 22-3-0_■ZOOM ウェビナー参加方法_JGS 関東_220302
- 22-3-1_JGS 既存杭講習会計画（220630）_220303-2
- 22-3-2_JGS 既存杭_PPT フォーマット（案）場所打ち杭の最近の話題講習会（抜粋）220310

■議事

1. 前回議事録の確認等（記録：長澤委員）→ 資料 22-1

第 21 回（2022 年 2 月 2 日）の議事録（案）が確認され、承認された。
転載許可について、建築学会論文は執筆者が OK であれば、学会からの許可は必要なし。指針類は必要なので、建築基礎構造指針のフロー図のみ、押印付きで許可申請する。

2. 表紙のデザイン → 資料 22-2-2-1、資料 22-2-2-2

- ・表紙のデザイン案 1～4 について、第 1 案が良さそうとの意見が多かったが、委員長・幹事に一任となった。

3. 今後のスケジュール

- ・出版までのスケジュールの説明があり、初校返し（4/8）の確認があった。
初校原稿：【マイポケット】〈20220316_既存杭撤去初校原稿〉に保存してある。
→初校は委員全員みられるが、初校返し（赤字を入れたもの）の作成は、各章担当 WG の主査に一任し、下記のフォルダーにいれる。各委員は原稿 PDF に直接記入するか、印刷して赤字で手書きしたものを PDF にするか、箇条書きか文章でコメントのいずれかで、主査に送付する。
初校返し：【マイポケット】〈20220408_既存杭撤去_初校返し〉
- ・5 章を読んで、ゴシック（活字の違い）があった（木谷）。この場合、全体でなく、コメントでもよいか。
→判るコメントならば、良い。

- ・ P. 47 図 3.5.1 中の「赤字の四角枠」は確認用か、強調か、判らないが、要確認のこと。
内容だけではなく、修正段階の確認用の未戻しもあるので、確認して頂きたい。
- ・ その後の予定 :
→修正最終版の校正刷り (4/22)
→最終チェック (1, 2 週間程度) →5/10 目標で提出
→書籍の完成 : 5 月末予定 が、了解された。
- ・ 正誤表の作成 :
書籍は、直ちに委員に学会事務局より送付する。
各委員は、書籍が来たら正誤表の作成をお願いする (5 月末～6/20 頃)
正誤表のフォーマット (建築学会) を送付する。
→講習会では正誤表を表示する。PDF 版を総合土木の HP に入れる。
→書籍の販売は、講習会終了後 7 月からとし、正誤表も添付する。

4. JGS 関東の会告→ 資料 22-3-1

- ・ 資料で説明があった。
- ・ まだ追記されていないが、【連絡事項】(参加方法他) の欄に、「※書籍の一般販売は講習会終了後となります。」を追加予定
- ・ 書籍は、確実に説明会より前に届けて貰いたい。締切 6/20、入金〆切 : 6/23 で遅くないか。
→JGS 関東) 青木さんに確認する。
6/25 に受講者に到着する予定で、締切、入金〆切の日程を組んでもらう。
- ・ この会告はどこに出されるか。
- ・ JGS 関東) 青木さんに確認のこと
 - ① JGS 関東のホームページ (HP)、JGS 本部の HP にも記載依頼のこと
 - ② 講習会の案内 (メール) があるはず。JGS 関東と本部の両方に依頼したい。
 - ③ 学会誌にも載るのか、確認してもらう。

5. 報告会 (6/30) → 資料 22-3-0、資料 22-3-2

- ・ 報告会は、6/30 (木) 13:00～16:50 となった。
- ・ 説明者ごとにパソコンが異なると、トラブルの原因となることを恐れる。
説明者は JGS 会館 (千石) にきて、同じパソコンを用いて、説明してもらいたい。(桑原)
→了解された。
- ・ 委員の方にも、報告会の案内 (Zoom) を出してもらう。
→委員の名簿にアドレスが記載されているが、変わった方もいる。当日は自宅等別なアドレスを希望する方もいると思うので、4 月になったら、説明会の案内を送るメールアドレスの確認を行う。
- ・ 説明用 PPT の仕様 : 右上部に書籍のページ、右下に PPT のページを入れる。できれば字のフォント、サイズをそろえて欲しい。
PPT に掲載する図は書籍と同じものが望ましい (桑原)
→フォーマットは了解された。再度、説明者に送って貰いたい。
書籍に掲載していない写真を使ってもよいか? (木谷)
→PPT は配布しないので、書籍に載せられないトラブル事例の写真等を使っても良い。
- ・ 説明者の PPT の確認をしたい (桑原)
→6 月の 2-3 週で行う。本日欠席の方もいるので、日程調整はメールで行う。

- ・ZOOM ウェビナー（定員 500 名）によるオンライン講習会の説明があった。
この資料は、講習会参加者に事前に配布する。
- ・司会は必要か？
→Zoom なので、不要となった。必要となった場合は、当日桑原委員長が行う。
- ・当日の説明スタイルは、どうなるのか。
→初めに説明者の顔を出し、後は PPT の画面となつての説明を考えている（桑原）。
了解された。可能ならば、説明者の顔が画面内に小さくあつたらよいとの意見があり、JGS 関東）青木さんにできるか聞くことになった。

6. 書籍の内容確認

- ・P. 46 3 章表 3.4.4 で、「埋戻し方法」欄で、「1～2（非常に悪い～悪い）」があるが、解説で使ってよいか、どうか書いていない。1～2 は推奨しない、3 以上を推奨すると書いた方がよいのではないかと（栗本）
→4 章もそうだが、今回は限られた委員の情報でまとめており、指針でもないことから、このままでよいとなった（書けない）。
講習会では 1～2 を推奨しないことを伝えて欲しい（小坂井）、
- ・P. 130 6 章表 6.2.1 で A2 欄、「適宜低減が望ましい」は、「必要に応じて低減する」ではないかと（栗本）
→前提条件が、上 2-4 行「適切に埋戻し材が充填されていないと、・・・が低下する恐れがある」があるので、そのままでよいとなった。

7. おわりに

- ・桑原委員長より、最後の委員会としてあいさつがあった。

以上